

## 六角川・牛津川の排水ポンプ場の現状

○六角川及び牛津川水系においては河川改修の進捗とともに、昭和50年代から河川事業、農林関係事業、鉱害復旧事業等により、排水ポンプが設置されるようになり、現在、国及び自治体等で合計60箇所の排水ポンプ場が設置（うち国交省管理16箇所）されています。

■六角川では、排水能力50m<sup>3</sup>/sの高橋排水機場をはじめとして、36箇所（総排水容量約220m<sup>3</sup>/s）の排水ポンプ場が設置されています。

※うち国交省管理9箇所

■牛津川では、排水能力50m<sup>3</sup>/sの牛津江排水機場をはじめとして、24箇所（総排水容量約140m<sup>3</sup>/s）の排水ポンプ場が設置されています。

※うち国交省管理7箇所

これらの排水ポンプ場が全て稼働した場合、全体で約360m<sup>3</sup>/sの流量が洪水時に河川へ排出されることとなります。